

米軍嘉手納基地に暫定配備されている  
F-15E 戦闘機の車輪欠落事故に対する抗議決議

沖縄防衛局によると、本年8月4日午後6時40分頃、米軍嘉手納基地に暫定配備されているF-15E 戦闘機が車輪を欠落した状態で着陸する事故が発生したとの情報提供があった。目撃者によると、機体は主脚右側の車輪を1つ欠いた状態で火花を散らしながら緊急着陸した。機体には空対空ミサイルが搭載されていたため、停止後ミサイルに安全装置を取り付ける措置も確認されている。F-15E 戦闘機を巡っては、今年4月にも同基地に暫定配備されている機体のタイヤ一つが離陸前のけん引中に外れる事案も発生している。

今回の事故は一步間違えれば、本町を含む嘉手納基地周辺住民の人命に関わる重大事故になりかねず、強い憤りを禁じ得ない。

よって、本町議会は町民の生命、財産、安全を守る立場から米軍及び関係当局に対し、厳重に抗議するとともに、下記事項を速やかに実現するよう強く要求する。

記

- 1 事故に関する正確、かつ迅速な情報提供を行い、その結果を速やかに公表すること。
- 2 事故の再発防止と具体的な解決策を日米両政府で早期作成、公表、実施すること。
- 3 嘉手納基地の負担軽減を速やかに実施し、機能移転・訓練移転を図ること。
- 4 日米地位協定の抜本的な改定を早急に行うこと。
- 5 全ての在沖米軍基地を整理縮小し段階的に撤去すること。

以上、決議する。

令和7年8月14日

沖縄県中頭郡北谷町議会議長 仲地 泰夫

あて先

米国国防長官      米国国務長官      駐日米国大使      米インド太平洋軍司令官  
在日米軍司令官      在沖米四軍沖縄地域調整官      嘉手納基地第18航空団司令官  
在沖米国総領事